

週報 第3197回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・長野 信
 幹事 松村 泰英 SAA 櫻井 善章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
 TEL 0725-20-1121
 例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
 TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
 メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
 ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2023年3月17日)

- プログラム**
 卓話担当 川端 徹 会員
 卓話講師 国際ロータリー第2640地区
 ローターアクト委員長
 小池 知明 様(御坊RC)

■ 次週のプログラム
 3月24日: 当クラブ細則により例会休会

■ 今後の予定
 ・3月31日: 卓話担当 川上 正人 会員
 卓話 八木 昌彦 会員
 「趣味はゴルフ、将棋、政治鑑賞」
 ・4月7日: クラブフォーラム
 根尾 玲子 親睦活動委員長

■ 祝 誕生日
 釜野 典子(19日)
 白谷 喜世彦(21日)
 砂原 孝史(23日)

■ 今月のロータリーソング
 奉仕の理想

今月の歌

早春賦
 春は名のみの 風の寒さや
 谷のうぐいす 歌は思えど
 時にあらずと 声もたてず
 時にあらずと 声もたてず

先週の例会

会長の時間

南出 和成 会長



- 花粉情報、桜開花情報について
- WBC侍ジャパンについて
- 3月11日グルメ、日本酒同好会開催について
- 3月15日社会奉仕による献血事業について
- 啓蟄に係る思い出
 3月6日から3月20頃までは二十四節季の第三の「啓蟄」です。
 この「啓蟄」は「土の中で縮こまっていた虫が穴を開いて動き出す日のこと」具体的には「これから働き出すぞ」と言う意味があります。
 実は、私が以前病気になる時、この「啓蟄」を大変頼りにした思い出があります。
 私が48歳の秋頃、朝起きるとキーンと大きな耳鳴りがしました。直ぐに治るかなと思いましたが一週間ぐらい続き、これはおかしいと思い耳鼻科にいき

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3197回

ました。そこで突発性難聴と診断され点滴や薬による治療をしてもらいました。そうしているうちに今度はめまいが起きてきて、一日中船酔いしているような感じで、食事もお腹が空かしく二か月間で10キロ落ちました。又、めまい専門の病院でも診察してもらいましたが、なかなか良くなりませんでした。ただ、その病院の中で「暖かくなる3月の(啓蟄)ぐらいから良くなるよ」と言われまして、最初は本当に良くなるのかなと思っていましたが、確かにその時分から少しずつ良くなってきました。そんなことでこの「啓蟄」という言葉、時期は今でも頭に残っております。今は、時々めまいがする時もありますが、お酒をのんで酔っているぐらいの気持ちであります。

以上

幹事報告

松村 泰英 幹事

- 小林美術館より、春季特別展のご案内が届いております。割引券がご入用の方は事務局の方までよろしくお願い致します
- ガバナー月信3月号を、テーブルに配布しておりますので、ご拝読下さい
- 3月16日(木)事務局は休業させていただきます

委員会報告

○来週3月17日(金)例会終了後、職業研修が14時から15時30分の予定で開催されます。参加者の皆様にご連絡ですが、ここから移動される方、ホワイトビルさんの駐車場に停めていただいて各自移動お願い致します。もし、乗り合わせでということであれば、私の方までご連絡下さい

(今井 克範 職業奉仕委員長)

①来週3月15日(水)泉大津市役所の方で、献血がございます。お立ち会いただける方ありがとうございます。又、会員の皆様におきましては、お礼品のご提供いつもありがとうございます。お礼品は本当にご負担のない程度で結構ですので、まだの方はお帰りに紙をおいておりますので、ご記入の上よろしくお願致します。南出会長が午前、午後と終始出でいただけるということになっておりますので、トータル1時間

以上、お立ち会い、お越しいただいた会員の皆様には、メイクアップの対象になりますのでよろしくお願い致します

②本日例会終了後、社会奉仕委員会がございますので、委員の皆様よろしくお願致します
 (川端 徹 社会奉仕委員長)

ピジター

なし

出席報告

会員数42名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
3/10	35名	7名	—	85.37%
2/24	36名	6名	2名	92.68%

メイクアップ

榎本(2/28 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
 飯野(3/3 理事役員会)

ニコニコ箱

- ・今井さん、本日は卓話よろしくお願いたします(南出)
- ・今井理事様、本日卓話、宜しくお願いします(松村)
- ・今井様、本日は卓話よろしくお願いたします(櫻井)
- ・例会欠席のおわび(小野寺)
- ・早退のおわび(藤野)

ニコニコ箱合計	29,000円
累計	728,500円

祝 誕生日



瀧谷 達 会員(12日)

先週のプログラム



卓話担当 今井 克範 会員

今日は、私が思うこれからの時代に必要な要素として、つながる社会をどう生きていくか。社会とつながり生きて行くことはどうなのか。について、個人的な考え、活動の今をお話させてもらいたいと思います。

コミュニティースクールの今

前回の卓話では、コミュニティースクールのお話をしました。地域とともにある学校づくり。地域と学校の橋渡しであるコミュニティースクールは、現在も活動しています。今年度からは、泉大津の小中学校もコミュニティースクール制度が適用され、活動が始まっています。

私が関わっている小津中学校では、かなり先進的な取り組みにもなってきたととても期待が大きいです。

一昨年のルールメイキングで ipad の自主使用運用、学校制服の標準服の見直し、ルールづくり。

これによって、ユニクロとのコラボでの学校制服コーディネートなど、生徒たちが自分たちで決めて、自分たちで責任をもつ姿勢。そして、保護者や地域の方々への発表の場としての制服ファッションショー企画などは、主体的な生徒活動がなされています。

そういうルールメイキング活動がきっかけになり、OECD との国際共創プロジェクトへ発展しています。

OECD のネットワークを通じた海外の学校との交流なども実現。生徒たちによる「学校のコンパス」づくりで、「共創」を中心とした、生徒たちが主体となり、国際共創や地域共創によって、様々な価値観と出会いながら、学校のコンパス(スクール・ポリシー)が作成されていっています。

ここから、生徒たちの願いで地域がつながり、世界

がつながる生徒の資質・能力の向上も目指しています。

このような学校活動を眺めさせて頂きながら、生徒たちとのトークフォーラムで、対話を行い、交流も行って、これから期待しています。

生徒が創る学校づくりで、生徒の変化は、自分たちで学校は変えられると思う 75%
 自分は責任ある学校の一員だと思う 84% と素晴らしい数字でも表れています。

また、小津中は現在、学校校舎の長期化改修中なのですが、ここに、地域交流ゾーンができて、1階にある、図書室兼メディアセンターは、とても素晴らしい空間になっていきます。是非、完成して一般公開されたら、見に行ってください。

これからもどこまで、関わられるかわかりませんが、自走しはじめた小津中をこれからも見守っていきたくです。

また、市民会館跡地にできる、シーパスパークはいよいよこの夏にオープンして、供用開始されます。ここで、市民活動が有意義にできるように、シーパスパーククラブを立ち上げて、市民の憩いの場をみんなでルールをつくって、守り、運営していくために、準備しています。

泉大津市がヘルシーパーク、アビリティタウンと銘打っているコンセプトを市民の立場として、実装できるよう取り組みを進めたいと思っています。民間活用とともにも、組合員の人材交流、経済循環など、パークを拠点として、地域の社会としてのつながりを、新たなコミュニティをつくらせたり、ここで、社会課題の解決が行われて行くような活動として、実践していきたいと思っています。

社会とつながり、どう生きていくかを新たなコミュニティを築いていく活動をしなから、リアルにつながりを深めていきたいと思っています。

一方、今や社会はリアルなつながりだけでなく、オンライン、バーチャルでつながる社会にもなっています。

今までの WEB サイトを中心とした一方通行のオンライン創成期の Web1.0 から、Facebook や Twitter、Instagram などの SNS で双方向の交流ができ、個人での情報発信が自由にできる Web2.0 へ移行したあと、今は Web3.0 の時代になりつつあります。

この Web 上での様々な SNS がプラットフォームとして

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3197回

活用できる時代の中で、2021年にリリース直後に一気に盛り上がった、音声 SNS のクラブハウスがあります。これからの SNS は音声 SNS だと広まりましたが、ここに来て安定した会員数で推移しています。

このクラブハウスで、「コミュニティのつながり」を意識したコミュニティの「グローバル共和国」というところに参加して、活動を始めました。

グローバル共和国の紹介

多種多様な人が集まっているコミュニティでグローバル共和国というコミュニティがあります。そこには、参加者だけでなく、主婦、サラリーマンや海外からも参加していて、人種、国別、性別を問わないメンバーがあつまって、年中無休で 365 日活動しています。毎朝 6 時~8 時まで毎朝、朝活を実施して、また、毎週 100 以上のルーム番組が開催されています。

音声 SNS のクラブハウス上で活動しているコミュニティ

言語力に関係なく、自分の言葉で意見を伝えられる人、自分の人生を主体的に生きることが出来る人、相手の意見を傾聴できる人、温かく思いやりがあり、共同体として良い社会づくりに貢献できて、家族や周囲の人々に良い影響を与えられる人の集まりです。

「共同体が世界を変える」を合言葉に活動しています。

ここでひとつの社会を作っていますが、もっと外の社会と繋がることを意識しています。

ここには、社会のメカニズムと言われる、市場メカニズムと権力メカニズムとこれからは、コミュニティメカニズムの時代だと、日本経済学会の前会長がお話されています。このことを実践していこうとしているグローバル共和国をコミュニティメカニズムを実践していこうとしているコミュニティとして国際論文を発表し、研究されています。

このような、これからのコミュニティは、繋がる社会の中で、どうあれば良いのか投げかけられているのだからと思っています。

あくまで、クラブハウスは、SNS のためのツールであるので、コミュニティが出来れば、それが、メタバース上に移行して、より使い勝手、繋がりやすいのであれば、メタバースをコミュニティづくりの場にしていくことも十分考えられています。

Web3の時代が始まって、ブロックチェーンという新

しい技術をもとに、NFT、DAO などの仕組みにも見られるように、人が、必然的につながる中央集権的なカタチではない、安全につながる自律分散型の社会が AI の代等によって急激に進化、転換していることが、楽しみであるとともに、変化させていけないといけななと感じます。

こんな時代だからこそ、新しい事を始めたいとも思っていますし、楽しい社会に、楽しいことをしていくためにも、これらの、多分数年後にはもっと一般化されて、だれでも NFT の仕組みを使ったり、メタバース上での活動を生活習慣の一部になるような時代になれば、ワクワクしますが、リアルな事業とバーチャルの事業を組み合わせてたりして、挑戦していければとも思っています。

Web3.0 時代は、誰もがシームレスにつながる社会で、つながっているのが当たり前で、リアルやオンラインの境界は無くなって、新しくつながりあう時代に、新しい価値観でつながりあう時代になっていくのではないかと思っています。

これからの時代を積極的に生きていこうと思ったら、新しい事を知りたいと思う好奇心、新しい技術を使いこなすことができていけるコミュニティ、そして、自分自身が楽しんでいこうと思う主体的な行動によっていくのだと思っています。

今後、介護や福祉、医療、教育などの分野で、Web3.0 がどんどん浸透していきジャンルとそうでないジャンルは多少あるとしても、誰にでも身近なものになっていくと思われるので、今の業界に今以上に新しい技術などのアンテナを張っておこうと思います。

介護なども、これから自分たちが介護のお世話になる時代になれば、いまの事業環境じゃあ、自分たちが満足しなくなったり、教育でも、新しい技術、仕組みに利便性と将来性のことを考えて、シフトしていくようなことになれば、その業界で、必然的に取り入れていかないとイケなくなると思うんです。

このようなことを、日々考えながら、過ごしています。

新しい時代の転換期に生きていける私たちは、大いに期待に胸膨らませながら、また、自らチャレンジしていくような時代に心躍らせていきたいと思っています。

以上で、私の今の取り組みと現状とこれからの目指していくべき事についてのお話を卓話でさせて頂きました。ありがとうございました。